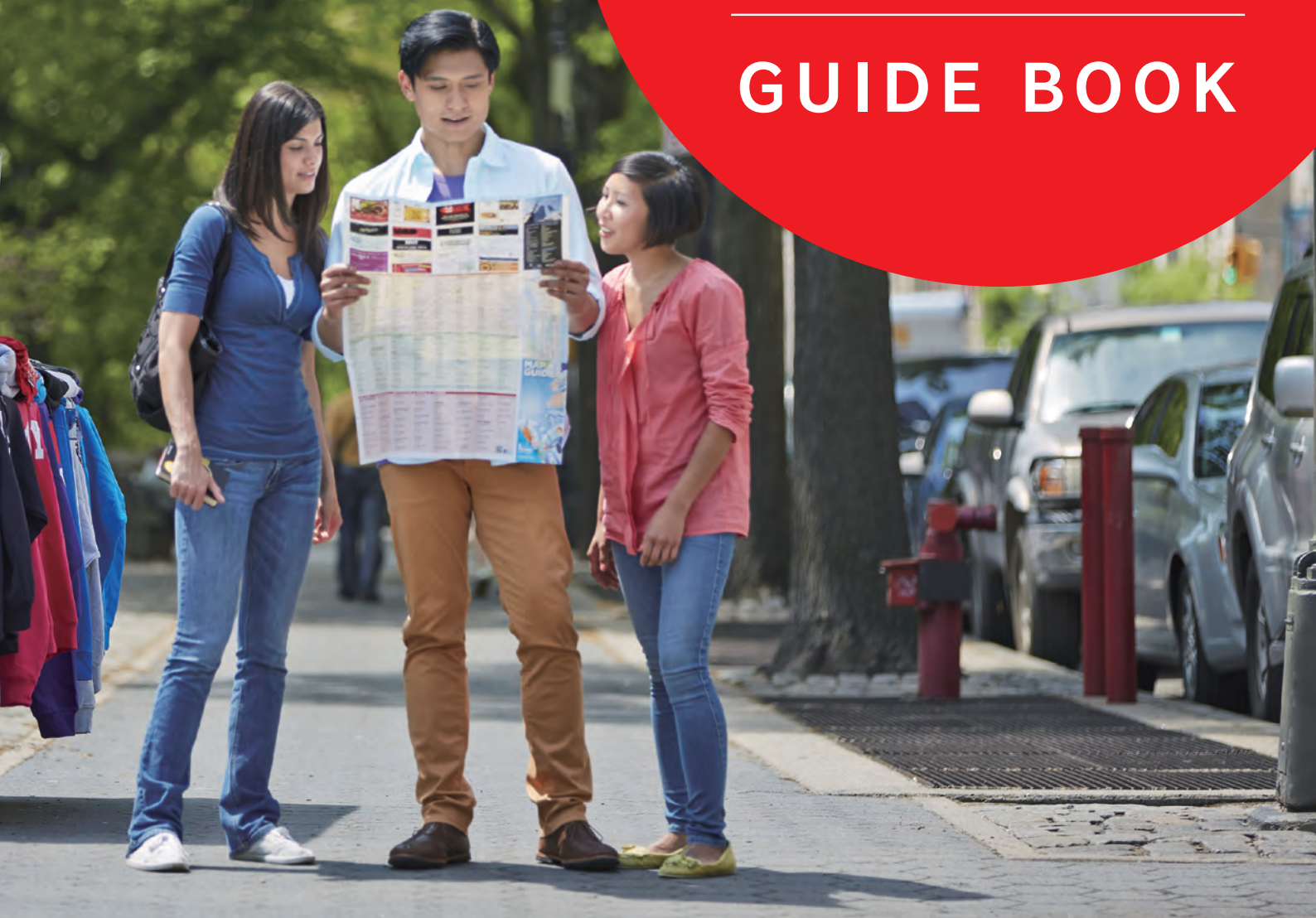


IELTS

アイエルトツ

公式テストセンター

GUIDE BOOK



受験・入試にもIELTSが活用できる!
P4, P5

テスト内容、受験時のポイント
P6, P7

お申し込みから受験まで
P8, P9

団体にIELTSを受験するには
P10, P11

テスト結果とバンドスコア
P12, P13

IELTSを生かして留学・進学したい!
P14, P15

受験するIELTSの選び方
P16, P17

学習支援ツールのご紹介
P18, P19

IELTSのココが良い!団体インタビュー①
P20, P21

IELTSのココが良い!団体インタビュー②
P22, P23

受験者の方へ

高校の先生方へ

大学の入試担当の方へ

大学の留学担当の方へ

英検

公益財団法人
日本英語検定協会

BRITISH
COUNCIL

IELTS™
Official Test Centre

留学の先の可能性を広げるために まず世界へ飛び立つ滑走路へと導く

世界のトップスクールへの高い合格実績を誇るアゴス・ジャパンは、「教育と人物交流を通して、世界を舞台に活躍したい人々を応援する」ことをビジョンに掲げ、留学希望者が世界へ飛び立つ滑走路へと導いている。IELTSは自分の現在地を知るツールであり、スコアは能力ではない。テストにより今できること、何ができれば目標に近づけるかを知り、留学をして何をしたいのかを考えることがモチベーション維持につながるという。



強くて優しいグローバル教養人を育成し IBカリキュラムで国内・海外大学進学を目指す

沖縄尚学高等学校は、2015年度より国際バカロレア (IB) 認定校となり、2017年度より国際文化科学コースでIELTSの団体受験を導入した。同コースの生徒の3分の1は海外進学を目指し、高校2年次に1回、3年次に1回、IELTSを受験し、スコア5.5～6.5を目標としている。IBのカリキュラムで学ぶことでIELTSのスコア高得点につながり、さらにSATの受験やディプロマ取得時にもIELTS受験で取り組んできた学習が役立ち、相乗効果を生んでいる。

大学での本質的な学びを深め IELTSで世界に通用する力を養う

武蔵大学が「全学部統一グローバル型」の入試でIELTSを導入した背景には、外部資格・検定試験利用入試の広がり、全学で推進するグローバル教育がある。日本にいながらにして同大とロンドン大学の学位を取得できる、経済学部の「パラレル・ディグリー・プログラム (PDP)」は、プログラム履修の条件としてIELTSのスコアが基準となる。本質的な学びに向かう力を養い、継続的にIELTSを受験し、海外大学院への進学を目指すプログラムだ。



IELTSの学内実施や対策講座で 学生の留学への機運を高める

グローバル化を推進する中央大学では近年、留学希望者の増加に伴い、IELTS受験者が増加し、交換留学の要件をIELTSのスコアでクリアする学生が増えている。受験者増加の背景には、学内での試験実施や対策講座の開催など、国際センターによる情報提供や環境整備がある。2019年4月には国際経営学部や国際情報学部を新設。国際教育寮が設置され、国際的な視点に立ち、より専門性の高い知識を持った人材が世界へと巣立っていく。

IELTS (アイエルツ) とは

International English Language Testing Systemの略で、海外留学や研修のために英語力を証明する際、およびアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどへの海外移住申請をする際に非常に適したテストです。ペーパーベースの筆記テストとface-to-faceのスピーキングテストで4技能をバランスよく測定します。ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP: IELTSオーストラリアの3団体で共同運営されているため、中立的なテスト提供、徹底的な管理体制、試験問題の精査機能が保たれています。日本国内では、公益財団法人 日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが2010年4月より共同で運営を開始しました。

世界に広がるIELTS

IELTSは世界**140カ国**、**10,000以上**の機関で認定されている

4技能英語テストの**グローバルリーダー**です。

世界で年間**350万人**以上の受験者が、留学・移住・就業のために受験し、特に近年はアジア諸国で受験者数が伸びています。

IELTSを採用している世界のトップ大学の例

※IELTSスコア情報：2019年3月1日現在

	大学	IELTS スコア
	University of Oxford	7.0
	University of Cambridge	7.5
	California Institute of Technology	7.0
	Harvard University	7.0
	Princeton University	7.0
	University of Toronto	6.5
	University of British Columbia	6.5

<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings>

<https://takeielts.britishcouncil.org/>

<https://www.ubc.ca/>

受験・入試にもIELTSが活用できる！

日本でのIELTS採用状況

9年間で受験者が約5倍に

(日本英語検定協会、ブリティッシュ・カウンシル実施分)

◆ IELTSt団体受験実施 ● 双方採用 ■ IELTS入試導入

九州・沖縄

- 国公立大学
- 鹿児島大学
 - ◆ 北九州市立大学
 - 九州大学
 - 九州工業大学
 - ◆ 熊本大学
 - 長崎大学
 - 福岡県立大学
 - ◆ 福岡女子大学
 - 宮崎大学
- 私立大学
- 鹿児島国際大学
 - 活水女子大学
 - 九州産業大学
 - 久留米大学
 - 熊本学園大学
 - 西南学院大学
 - 長崎国際大学
 - 中村学園大学
 - 福岡大学
 - 立命館アジア太平洋大学
- 大学以外の団体
- ◆ 沖縄尚学高等学校
 - LINE Fukuoka株式会社
 - リンデンホールスクール中高学部

北陸・中部

- 国公立大学
- 金沢大学
 - ◆ 信州大学
 - 都留文科大学
 - ◆ 名古屋大学
 - 静岡文化芸術大学
 - 長野県立大学
 - 豊橋技術科学大学
 - 名古屋工業大学
- 私立大学
- 愛知淑徳大学
 - 愛知学院大学
 - 愛知大学
 - 桜花学園大学
 - 金沢星稜大学

四国

- 国公立大学
- 高知大学
 - 徳島大学

中国

- 国公立大学
- ◆ 岡山大学
 - 下関市立大学
 - 広島大学
 - 山口大学
- 私立大学
- 広島文教大学

近畿

- 国公立大学
- 大阪教育大学
 - 大阪大学
 - 京都大学
 - ◆ 神戸市外国語大学
 - 兵庫県立大学
- 私立大学
- 梅花女子大学
 - ◆ 追手門学院大学
 - 大阪経済大学
- 大阪経済法科大学
 - 大阪工業大学
 - 大阪国際大学
 - 大阪産業大学
 - 大阪女学院大学
 - 関西外国語大学
 - 関西学院大学
 - 関西大学
 - 京都外国語大学
 - 京都産業大学
- ◆ 甲南女子大学
 - 甲南大学
 - 神戸女学院大学
 - 同志社女子大学
 - 同志社大学
 - 立命館大学
 - 龍谷大学
 - 関西国際大学
 - 畿央大学
 - 京都ノートルダム女子大学

- 京都橘大学
 - 京都女子大学
 - 京都精華大学
 - 京都文教大学
 - 近畿大学
 - 四天王寺大学
 - 神戸海星女子学院大学
 - 神戸学院大学
 - 摂南大学
 - 宝塚医療大学
- 姫路獨協大学
 - 兵庫医科大学
 - 桃山学院教育大学
 - 桃山学院大学
 - 大和大学
- 大学以外の団体
- ◆ おおさかグローバル塾
 - ◆ 京都学園高等学校
 - ◆ 神戸日豪協会
 - ◆ 大学コンソーシアム京都

北海道

- 国公立大学
- 北海道大学
 - 北海道教育大学
- 私立大学
- 札幌学院大学
 - 星槎道都大学
 - ◆ 北海学園大学
 - ◆ 北海道科学大学

東北

- 国公立大学
- 国際教養大学
 - ◆ 福島大学
 - ◆ 山形大学
- 私立大学
- 東日本国際大学
 - 東北学院大学

関東

- 国公立大学
- お茶の水女子大学
 - 埼玉大学
 - 首都大学東京
 - 千葉大学
 - 筑波大学
 - ◆ 東京外国語大学
 - 東京大学
 - 東京海洋大学
 - 東京藝術大学
 - 一橋大学
 - 横浜市立大学
- 私立大学
- 青山学院大学
 - 江戸川大学
 - 桜美林大学
 - 大妻女子大学
 - 学習院大学
 - 学習院女子大学
 - 神奈川大学
 - 神田外語大学
 - 関東学院大学
 - 共立女子大学
 - 杏林大学
 - 国際基督教大学
 - 国士館大学
 - 駒澤大学
 - 敬愛大学
 - 工学院大学
 - 埼玉医科大学
 - 産業能率大学
 - 実践女子大学
 - 芝浦工業大学
- 順天堂大学
 - 上智大学
 - 城西国際大学
 - 昭和女子大学
 - 白百合女子大学
 - 成蹊大学
 - 成城大学
 - 聖心女子大学
 - 聖路加国際大学
 - 専修大学
 - 創価大学
 - 大正大学
 - 大東文化大学
 - 高崎健康福祉大学
 - 拓殖大学
 - ◆ 三川大学
 - 千葉工業大学
 - 千葉商科大学
 - 中央大学
 - 津田塾大学
 - 帝京大学
 - デジタルハリウッド大学
 - 東海大学
 - 東京音楽大学
 - 東京経済大学
 - 東京国際大学
 - 東京女子大学
 - 東京成徳大学
 - 東京電機大学
 - 東京都市大学
 - 東京富士大学
 - 東京理科大学
 - 東洋大学
- 東洋英和女学院大学
 - 東洋学園大学
 - 獨協大学
 - 日本大学
 - 日本女子大学
 - 法政大学
 - 武蔵大学
 - 武蔵野大学
 - 武蔵野美術大学
 - 明海大学
 - ◆ 明治学院大学
 - 明治大学
 - 目白大学
 - 立教大学
 - 麗澤大学
 - 早稲田大学
- 大学以外の団体
- ◆ 郁文館グローバル高等学校
 - ◆ 神奈川県教育委員会
 - ◆ 神田外語学院
 - ◆ 関東国際高等学校
 - ◆ 佼成学園女子高等学校
 - 国際基督教大学高等学校
 - ◆ 頌栄女子学院
 - ◆ 桐蔭学園高等学校
 - ◆ 東京都教育庁
 - ◆ 東京都立小石川中等教育学校
 - 日本外国語専門学校
 - ◆ 日本工業大学駒場高等学校
 - ◆ 富士見丘高等学校

資格・検定試験とCEFRとの対照表 (2019年3月現在)

CEFR	IELTS	英検	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2	8.5 — 9.0				
C1	7.0 — 8.0	1級	375 — 400	800	95 — 120
B2	5.5 — 6.5	準1級	309 — 374	600 — 795	72 — 94
B1	4.0 — 5.0	2級	225 — 308	420 — 595	42 — 71
A2		準2級	135 — 224	235 — 415	
A1		3級			

※CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languages (ヨーロッパ言語共通参照枠) の略。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格で6つのレベルが設定されています。

※ 英語4技能試験情報サイト <https://4skills.jp/> より抜粋。対照表の内容は、今後修正される可能性がありますので、最新情報は上記URLにてご確認ください。

日本の大学入試におけるIELTSの活用

グローバル人材の輩出に力を注ぐ大学が増えており、学習環境の整備や留学制度の充実に加え、入試改革が大きく進んでいます。入試改革においてはコミュニケーション力の評価が大きな課題であり、自校で実施することが難しい「書く力」「話す力」の測定を実行できる民間の4技能試験を活用する動き更に加速化しています。世界標準であるIELTSは日本の多くの大学でも入試優遇に利用されており、これまで留学資格として考えられていたIELTSが新たなフィールドで注目を集めています。

英語教員採用試験におけるIELTSの活用例

小学校5年生からの英語教科導入や中学校における「英語による英語の授業」など、小中高の教育現場でもグローバル化が着実に進んでおり、公立学校の英語教員採用試験でIELTSを活用する都道府県が増えています。

主な優遇方式	
出願資格	大学が指定する基準スコア取得者のみが出願することができる。
得点換算	大学が指定する基準スコア取得者は、入試の英語試験の得点に換算される。入試の英語試験も受験して、よい方の得点で合否判定される場合もある。
加算	大学が指定する基準スコア取得者に対して、入試の英語試験の得点や総合判定に加算する。
判定優遇・合否参考	大学が指定する基準スコア取得者は、合否判定の際に優遇を受けられる。

※詳細は、各大学にお問い合わせください。

都道府県	活用事例
東京都教育委員会	スコア7.0以上で英語実技試験の免除
大阪府教育委員会	一般選考において 4.0以上 10点加算 5.5以上 20点加算
兵庫県教育委員会	小学校はスコア6.0以上、 中・高はスコア7.0以上で加算
広島県教育委員会	小学校はスコア5.0以上から、 中・高はスコア6.5以上から加算

テスト内容、受験時のポイント

Writing ライティング

試験時間	60分
課題	全2問 Task1では約150語、Task2では約250語を書く必要があります。 Task2はTask1よりも配点が高くなっています。
採点方法	受験者の解答は、アイエルツの試験官によって、4つの評価基準（質問に適切に答えているか、一貫性はあるか、語彙力、文法力）に基づいて採点されます。
測定される英語力	どちらのTaskでも、質問に適切に答えているか、解答は論理的か、幅広く正確な語彙・文法が使用されているかという点において評価されます。

アカデミック・ライティング

Task1では、データを分析・比較し、それを説明する、もしくは物事の過程や手順を説明する力が問われます。
Task2では、ある問題に対してどのような意見を持っているかを説明します。問われるのは、根拠や例を挙げて比較検討しながら、筋道を立てて自分の主張を展開し、説得力をもたせる力です。

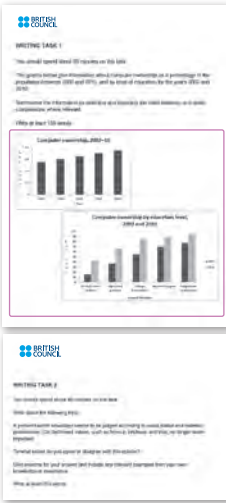
ジェネラル・トレーニング・ライティング

Task1では、私的な文書を書く課題が出されます。必要な情報を盛り込み、要求や希望、意見や不満などを表現する力が問われます。
Task2では、必要な情報を記述したり、問題を提示し、その解決策を示す力、自分の主張を述べ、説得力を持たせる力、また意見や根拠、論点を正しく評価し、反論する力が問われます。

- 解答には必ず黒鉛筆を使用してください。
- それぞれのTaskの語数指定に注意してください。
- Task1には約20分、Task2には約40分の時間をかけましょう。
- 不完全な文章、メモ形式や箇条書きの解答は減点の対象となります。
- つづり（スペル）や文法の間違いも減点対象になりますので注意してください。
- 全て大文字で解答しても採点に影響はありません。
- 問題用紙にメモをとってもかまいませんが、問題用紙に書かれたものは採点の対象になりません。

試験パート	2つのパートに分かれています。
アカデミック・ライティング	Task1では、グラフや表、図形を分析し、自分の言葉で客観的に説明します。また、物事の過程や手順の説明を問われることもあります。 Task2では、ある主張や問題についてエッセイを書きます。出題されるのは、大学や大学院に進学を予定している受験者もしくは就職を希望している受験者に適した一般的な題材です。 どちらのTaskでも改まった文体で書くことが求められます。
ジェネラル・トレーニング・ライティング	Task1では、与えられた状況に合わせて、情報を求めたり、立場を説明する手紙を書きます。内容は個人的なものである場合もあれば、よりフォーマルな文体を求められる場合もあります。 Task2では、ある見解や議論、問題についてエッセイを書きます。出題されるのは一般的な題材です。 アカデミック・ライティングのTask 2ほど改まった文体は求められません。

【サンプルテスト】
<https://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test/free-practice-tests>
【採点基準】
<https://takeielts.britishcouncil.org/find-out-about-results/ielts-assessment-criteria>



グラフや表、図形を分析します。主観的に述べるのではなく、客観的に説明することが求められます。

自身の意見を主観的に表現するエッセイ形式の問題です。

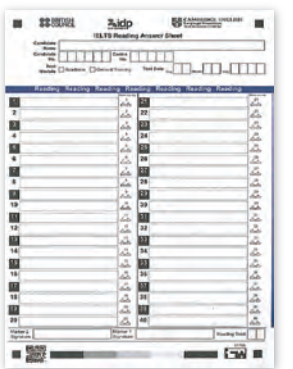


ライティング回答用紙サンプル

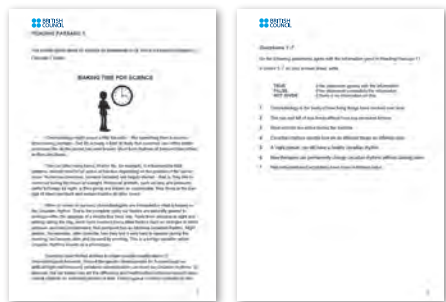
Reading リーディング

試験時間	60分（解答を書き写す時間はありません）
問題	全40問 様々なタイプの問題（選択問題、正誤問題、組み合わせ問題、見出し・主題の選択、文章・要約・メモ・表・フローチャート・図表の穴埋め、記述式問題）が出題されます。
採点方法	正答1問につき1点 40点満点で、得点はバンドスコアに換算されます。
測定される英語力	文章の要点や趣旨、詳細を把握する力、言外の意味を読み取る力、筆者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく力など幅広いリーディング力が問われます。

- 解答を直接解答用紙に記入するか、問題用紙に書き込んでから試験時間内に解答用紙に書き写してください。解答用紙に解答を書き写すための時間は、試験後に設けられていません。問題用紙に書かれたものは採点の対象外となります。
- 解答には必ず黒鉛筆を使用してください。
- 解答を変更する場合、消しゴムで消すかわりに、横線で消すことも認められています。
- 空欄補充型の問題について
・ 解答に使う単語は、リーディングの文章の中でも使われているものです。文章中の単語を書き換えて解答してはいけません。
・ つづり（スペル）や文法の間違いも減点対象になりますので注意してください。
・ 全て大文字もしくは小文字で解答しても採点に影響はありません。



【サンプルテスト】
<https://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test/free-practice-tests>
【採点基準】
<https://takeielts.britishcouncil.org/find-out-about-results/ielts-assessment-criteria>



Listening リスニング

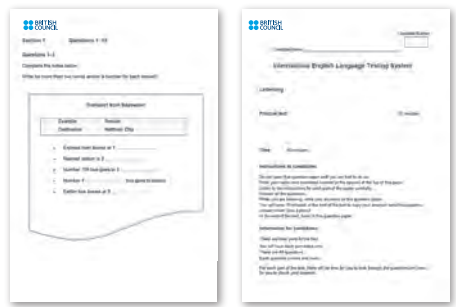
試験時間	約30分（その後、解答転記時間が10分与えられます。）
問題	全40問 様々なタイプの問題（選択問題、組み合わせ問題、計画・地図・図表の分類、用紙・メモ・表・フローチャートの穴埋め、要約・文章完成、記述式問題）が出題されます。
採点方法	正答1問につき1点 40点満点で、得点はバンドスコアに換算されます。
測定される英語力	話の要点や特定の情報を聞き取る能力、話者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく力など幅広いリスニング力が問われます。

- リスニングテストの音声は、1度のみ再生されます。
- 音声を聞く前に、問題文を読む時間が与えられます。
- 音声を聞きながら、問題用紙に解答を書き込んでください。問題放送の後に10分間、解答を解答用紙に書き写す時間が与えられます。問題用紙に書かれたものは採点の対象になりませんので、必ず解答用紙に転記してください。
- 解答には必ず黒鉛筆を使用してください。
- 解答を変更する場合、消しゴムで消すかわりに、横線で消すことも認められています。
- 空欄補充型の問題について
・ 語数制限に注意してください。例えば、2語以内“NO MORE THAN TWO WORDS”で答える場合、“leather coat”は正解ですが“coat made of leather”は不正解となります。
・ 解答用紙には、抜けている単語のみ記入してください。例えば、“in the _____”という欄に対して“morning”とするのが正解の場合、解答用紙に“in the morning”と記入した際には不正解になります。
・ 解答に使う単語は、音声でも使用されているものです。単語を書き換える必要はありません。
・ つづり（スペル）や文法の間違いも減点対象になりますので注意してください。
・ 全て大文字もしくは小文字で解答しても採点に影響はありません。



【サンプルテスト】
<https://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test/free-practice-tests>

【採点基準】
<https://takeielts.britishcouncil.org/find-out-about-results/ielts-assessment-criteria>



Speaking スピーキング

試験時間	11～14分
問題	受験者の受け答えは、IELTSの試験官によって、4つの評価基準（流暢さと一貫性、語彙力、文法力、発音）に基づいて採点されます。
採点方法	試験官との1対1のインタビュー形式で行われ、3つのパートから構成されています。 テストの内容は録音されます。
測定される英語力	質問に答えながら、日常の話題や出来事について情報を伝え、意見を述べるコミュニケーション能力、与えられたトピックに関して適切な言葉使いと一貫性を持って、ある程度の長さのスピーチをする能力、説得力のある意見を述べ、物事を分析、議論、推測する力などが問われます。

試験パート 3つのセクションに分かれています。

パート1	パート2	パート3
自己紹介と日常生活に関する質問（4～5分） 試験官が自己紹介をした後、受験者の名前を尋ね、パスポートを使って本人確認をします。その後、試験官から家族、仕事、勉強、趣味などの一般的なトピックについて質問されます。	スピーチ（3～4分） 試験官からトピックと言及すべきポイントが書かれたカード（Task card）が渡されます。受験者には1分間の準備時間とメモを取るための鉛筆と紙が与えられます。その後、最大2分間のスピーチを行い、スピーチの後は、試験官から同じトピックについて1～2つ質問されます。	ディスカッション（4～5分） 試験官からパート2のトピックについて、より掘り下げた質問がされます。受験者はトピックについてより深く自分の考えを述べるすることができます。

公益財団法人 日本英語検定協会のウェブサイト（<https://www.eiken.or.jp/speakingtest/>）にスピーキングテストのサンプル動画が公開されています。3つのレベル別にご覧いただけます。

<https://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test>

IELTS sample test

検索

お申し込みから受験まで

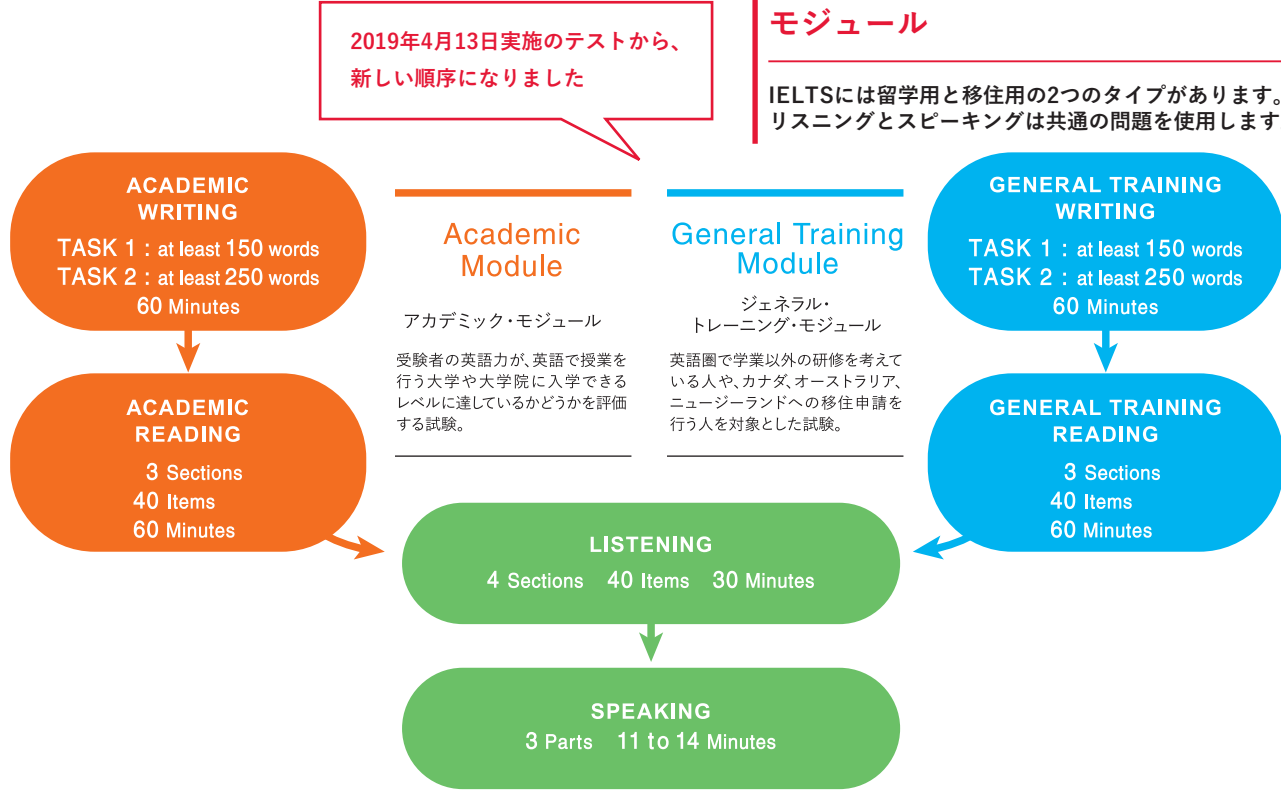
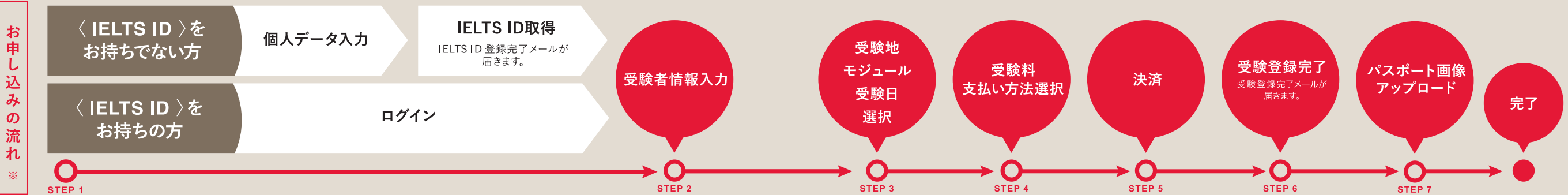
お申し込み方法

お申し込みは下記IELTSのウェブサイトにて受け付けています。
<https://www.eiken.or.jp/ielts>

お申し込み締切

筆記テスト19日前の月曜日12:00（昼）
※本曜日実施の試験の場合、申込締切は筆記テスト19日前の土曜日12:00（昼）です。
※各会場は定員制となっておりますので、締切前に定員に達した場合は、申込受付を終了させていただきます。

※ お申し込みの流れについては、現在改善に取り組んでおります。
最新の手続き方法については、IELTSウェブサイトにてご確認ください。



再受験について	再受験に関する制約はありません。間隔をあけずいつでも次の試験に申し込むことができます。
試験結果に関するお問い合わせ	試験結果に疑問がある場合、受験したテストセンターへ再採点（Enquiry on Results）を申請することができます。受付期間は筆記テストから39日以内です。どの技能の再採点を希望するかは、ご自身で指定することが可能です。このサービスは有料（税込1回9,000円）ですが、再採点でスコアに変動があった場合に限り手数料は返金いたします。再採点の結果が出るまでには、3週間程度かかります。
特別措置について	IELTSでは学習障がい、聴覚障がい、視覚障がいなどを持つ方への特別措置が用意されています。点字受験などの試験問題を必要とする場合は特別な準備が必要ですので、希望受験日の4カ月前までに管轄のテストセンターにご連絡ください。試験時間の延長など事務手続きのみで対応できる場合は、筆記テストの8週間前までに管轄のテストセンターにご連絡ください。

受験会場

札幌、仙台、埼玉、東京、横浜、長野（松本・長野）、静岡、金沢、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡、熊本などの全国の様々な会場で月最大3回実施しています。
※会場は試験実施日によって異なる場合があります。
※最新の情報は英検IELTSウェブサイトでご確認ください。



受験料

1人1回あたり25,380円（税込）※2019年3月現在。

お支払い方法

- クレジットカード（JCB・MASTER・NICOS・VISA）
 - コンビニ（ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・セイコーマート）
 - 郵便局ATM
- ※コンビニ、郵便局ATM支払いをご希望の方は、申込締切日の5日前までにお申し込みください。

お申し込みの際の注意点

- アカデミック・モジュール、ジェネラル・トレーニング・モジュールのどちらの受験が必要かについては、スコア提出先に事前にご確認ください。
 - IELTSのお申し込みの際には、試験日まで有効期限内のパスポートが必要です。他の身分証明書（免許証など）ではお申し込みいただけませんのでご注意ください。
 - 「受験要領(Notice to Candidates)」に記載されている注意事項、「申込に際しての宣誓事項(Declaration)」および「IELTS受験規約」をよくお読みください。受験者は申し込みによって、IELTSの規約を理解し、遵守する事に同意したものとみなされます。
 - IELTS for UKVI（英国ビザ申請用のIELTS）についてはブリティッシュ・カウンシルに直接お問い合わせください。また、どちらの受験が必要かについては、スコア提出先に事前にご確認ください。
- ※ IELTS for UKVIについての詳細は16ページをご覧ください。

団体でIELTSを受験するには

英検 IELTS 団体受験のご提案

貴校にあわせて申し込みから成績管理までをトータルコーディネート

柔軟性	利便性	信頼性
少人数から大規模まで、柔軟な試験実施対応 (学内、公開、学内/公開併用) ● 複数受験日、受験料補助の設定が自由自在 ● 日本語でスムーズなお申し込み ● ほぼ毎週末、全国主要16都市で実施 ● パスポート情報はオンラインでアップロード	団体管理専用サイト ● 各学生の申込状況や成績を一括管理 ● 様々な属性で集計可能 (学年・学科・専攻など) ● 永続的に成績履歴を参照可能 個人マイページ ● 個人の成績は永続的に参照可能 ● 申込・変更・TRF追加発行、各種手続きを一目で簡単に	テスト13日後13時に確実に成績結果をお知らせ ● 試験実施団体としての50年以上の実績 ● テスト団体として蓄積したノウハウを活かした安心・安全の運営 ● 迅速、確実な連絡対応

団体受験：学内 / 公開 / 併用の選択が可能

	学内実施	公開会場	学内/公開併用
特徴	● 授業・プログラムに合わせて試験日程を選択 ● 20人～400人まで柔軟に対応 最小催行20人未満の場合は応相談	● 年間約36回実施 ● 全国主要16都市、東京・大阪はほぼ毎週末 ● 東京・大阪は1Dayと2Dayの選択可	● 当協会実施のIELTS学内実施、公開会場の両方で受験可 ● 公開/学内両方のメリットを享受
受験者のメリット	● 慣れた環境で受験、実力を発揮しやすい ● 交通費不要	● 都合に合わせて、好きな日程で受験 ● 1Dayまたは2Day (2Dayの場合、スピーキングのみ筆記テスト翌日に実施)	● 学内受験ができない場合、公開会場の好きな日程で受験 ● 複数日程から、都合に応じて試験日を選択
大学・高校のメリット	● 年間スケジュールを立てやすい ● 教職員の方の管理のもと、受験状況を逐一確認	● 設備借用、備品準備の手間が省ける ● 試験当日の出勤が不要	● 学内試験日以外に公開会場での受験が可能 → 受験者の利便性向上

学内実施のスケジュール

学内実施IELTS実施までの流れ	受験者が多い団体様には、年間48回の実施可能日程の中からご希望の実施日をお選びいただき、キャンパス・施設内で在学生及び教職員などを対象としたIELTS実施が可能です。実施は原則全て当協会スタッフが行います。
1 試験日決定 12～3カ月前	年間48回 (毎月4回、うち土曜3回と木曜1回) ある試験日より、ご都合の良い日をお選びください。学内留学派遣選考締切の1カ月前に試験日を設定する場合があります。2019年度の実施可能日程は11ページ図をご参照ください。
2 会場登録	試験で使用する教室の写真撮影及び音声テストを行い、当協会にて試験会場登録を行います。学内会場でのIELTSテスト実施には、別途書面での同意が必要となります。
3 IELTS説明会学内(社内)広報	団体様より、受験者へIELTS学内会場実施の告知をお願いいたします。必要に応じて、当協会スタッフを派遣しIELTSの説明会を行います。告知用のポスターやチラシなども当協会で作成可能ですので、ご希望の場合はお知らせください。
4 申込期間 3カ月～15日前	学内実施での受験は原則、受験者本人によるオンラインでのお申し込みになります。IELTSウェブサイトの団体受験専用ページより受験申込をしていただけます。
5 IELTS実施	テスト実施は原則当協会スタッフのみで行いますので、特に団体所属の教職員の方にお手伝いいただく必要はございません。試験当日の流れは右表をご参照ください。
6 テスト結果確認 実施13日後の13時から	団体責任者専用ウェブページより、受験者の成績一覧をご確認いただけます。

学内実施に関する要項

実施日	団体様のご都合に合わせ、実施可能日の中から試験日を決定		最低遂行受験者数	原則20名以上 (まずはご相談ください)	
当日の流れ (目安)	7:30 ～	実施スタッフ集合	実施責任者	公益財団法人 日本英語検定協会スタッフ 1名 (および試験監督者を数名派遣)	
	8:00 ～	受験者集合 / IDチェック開始	面接委員	受験者14名につき1名派遣	
	8:40 ～	荷物室の施錠	試験に必要な環境・条件	構内全体	● チャイム、構内放送を停止すること ● 他試験、授業、道路騒音等の影響がないこと ● 車での資材搬入、搬出が可能であること
	8:55 ～	説明開始		筆記試験教室	● フラット教室であること (階段教室は原則不可) ● オーディオ機器、マイクが使用可能であること ● 筆記試験に適した大きさ、前後左右間隔のあいた机があること ● 掛け時計 (秒針つき) が設置されていること
	9:00 ～ 10:00	Writing		IDチェック室 面接待合室	● 電源 (IDチェック時のPC用) が使用できること
	10:10 ～ 11:10	Reading		荷物室	● 施錠できること
	11:20 ～ 12:00	Listening		面接室	● 可動機であること ● 施錠できること
	12:10	一時解散 (昼休み)		スタッフ室	● 施錠できること
	13:00 ～ 18:00	Speaking (11 ～ 14分。指定時間に随時集合)		借用希望備品	● 荷物室、面接室の鍵 ● 受付机と椅子 ● オーディオ機器、マイク ● 掛け時計 (秒針つき) ● 立て看板、ホワイトボード
	18:30	撤収完了			
	借用希望教室	7:30 ～ 13:00	筆記テスト教室 (1教室 ※必要に応じて変更) 荷物室 (1教室) スタッフ室 (1教室) IDチェック室 (1教室)		
		12:30 ～ 18:30	面接室 (14名につき1教室) 面接待合室 (1教室) スタッフ室 (1教室)		

2019年度 IELTS試験実施可能日程

4月	6日 土	13日 土	25日 木	27日 土	10月	10日 木	12日 土	19日 土	26日 土	
5月	4日 土	11日 土	18日 土	23日 木	11月	2日 土	7日 木	16日 土	23日 土	30日 土
6月	1日 土	13日 木	22日 土	29日 土	12月	7日 土	12日 木	14日 土		
7月	6日 土	18日 木	20日 土	27日 土	20年1月	4日 土	11日 土	16日 木	18日 土	
8月	1日 木	10日 土	17日 土	24日 土	2月	1日 土	8日 土	13日 木	22日 木	
9月	7日 土	12日 木	14日 土	28日 土	3月	5日 木	7日 土	14日 土	21日 土	

※太字の日程に限り、ジェネラル・トレーニング・モジュールも実施可能

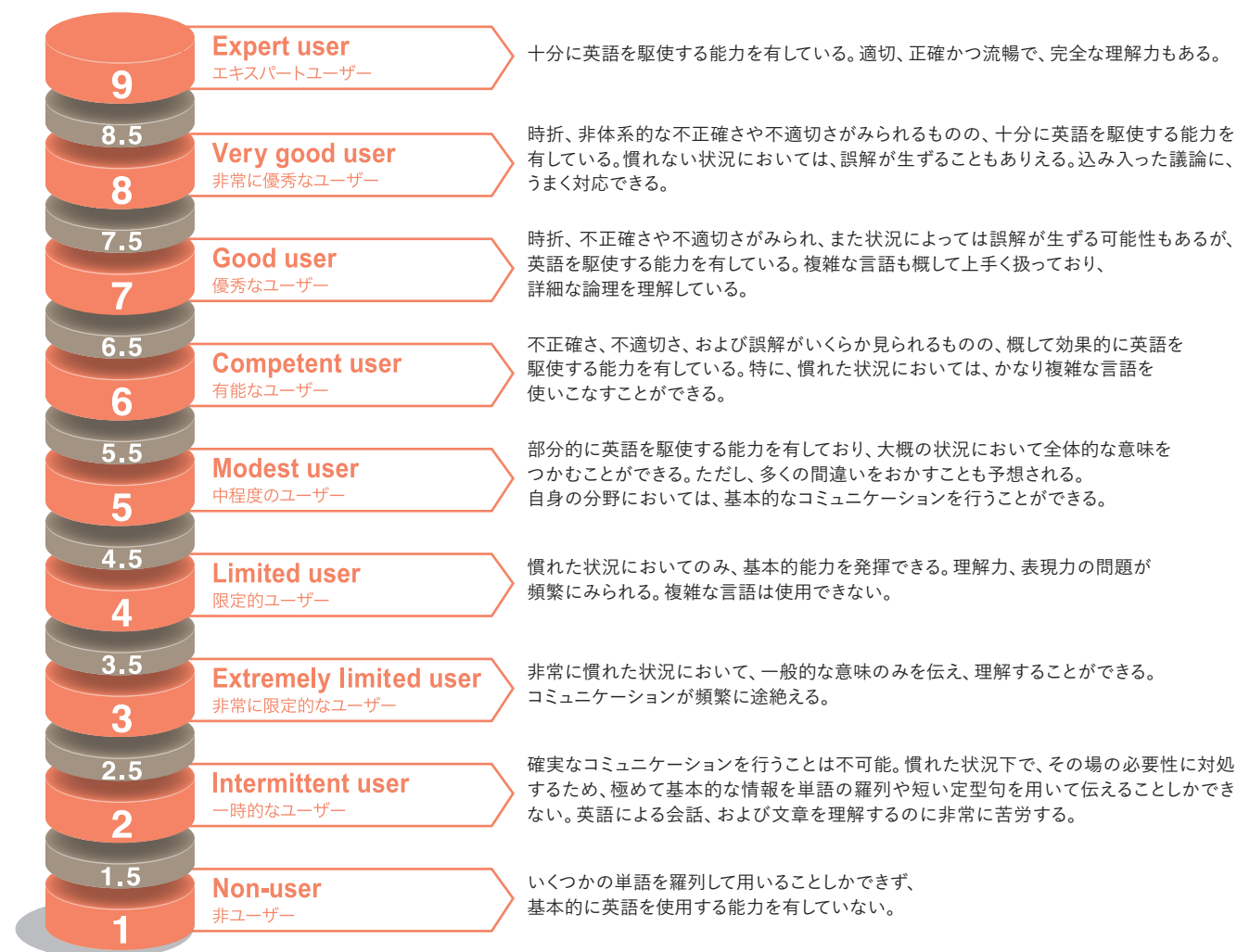
留学成功の鍵をにぎるIELTSの団体受験は、50年以上の各種試験運営実績のある日本英語検定協会にお任せください。
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS マーケティング担当 support-kokusai@eiken.or.jp

テスト結果とバンドスコア

バンドスコア

IELTSはあらゆるレベルの英語能力を評価できるように開発されています。試験結果は1.0から9.0までの0.5刻みのバンドスコアで示されます。合格・不合格はありません。採点方法やスコアの内容についての詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

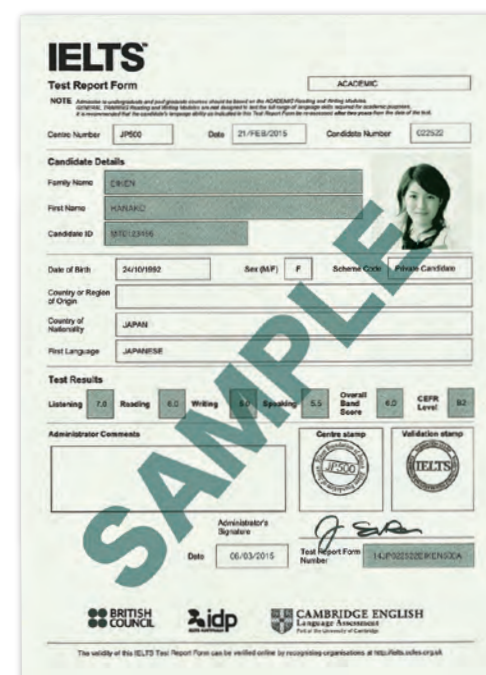
<https://takeielts.britishcouncil.org/>



テスト結果

有効期限：筆記テスト当日を含め、2年以内

受験者にはライティング、リーディング、リスニング、スピーキングの各パートのバンドスコアと総合評価としてのオーバーオール・バンドスコアが表示された成績証明書（TRF：Test Report Form）が発行されます。成績証明書は、原則筆記テストの13日後に発行され、その後、各受験者に郵送されます。また、同じく筆記テストの13日後の13時より、ウェブサイト（IELTSマイページ）でスコアの閲覧が可能です。成績証明書は受験者宛には最初の1通のみの発行となりますので、大切に保管してください。なお、成績証明書に記載されている発行日から30日以内であれば、IELTSの認定機関として登録された教育機関や移民局宛に5通まで無料で追加発行いたします。6通目以降、または30日を過ぎてからの追加発行には発行手数料（税込1通1,100円）がかかります。



オーバーオール・バンドスコアについて

オーバーオール・バンドスコアは、4技能（リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング）の単純平均をもとに0.5点刻みで決定されます。平均点が0.5点刻みではない場合、その数字に一番近いスコアに寄せられます。（0.25点刻みの場合は、0.5点刻みに切り上げられます）

	受験者A	受験者B	受験者C	受験者D	受験者E
Writing	6.0	6.0	6.0	6.5	6.5
Reading	6.0	6.0	6.5	6.5	6.5
Listening	6.0	6.5	6.5	6.5	6.5
Speaking	6.0	6.0	6.0	6.0	6.5
4技能平均	6.000	6.125	6.250	6.375	6.500
Overall	6.0		6.5		

アジア主要国別スコア（Academic Module, 2017年）

	Writing	Reading	Listening	Speaking	Overall
Malaysia	6.3	7.1	7.3	6.7	6.9
Philippines	6.2	6.8	7.3	6.9	6.8
Hong Kong	6.0	6.8	6.9	6.3	6.5
Indonesia	5.8	6.7	6.6	6.3	6.4
Pakistan	6.0	6.2	6.6	6.4	6.4
Sri Lanka	5.9	6.2	6.6	6.5	6.4
Turkey	5.7	6.4	6.4	6.2	6.2
Bangladesh	5.8	6.0	6.4	6.3	6.2
Taiwan, China	5.6	6.2	6.2	6.1	6.1
India	5.8	5.8	6.3	6.0	6.0
Kazakhstan	5.6	6.2	6.2	5.9	6.0
Thailand	5.5	6.0	6.3	5.9	6.0
Korea, Republic of	5.5	6.2	6.2	5.8	6.0
Vietnam	5.6	6.2	6.0	5.7	5.9
Nepal	5.6	5.8	6.3	5.8	5.9
Japan	5.4	6.1	5.9	5.6	5.8
China (People's Republic of)	5.4	6.1	5.9	5.4	5.8
Uzbekistan	5.3	5.6	5.6	5.6	5.6

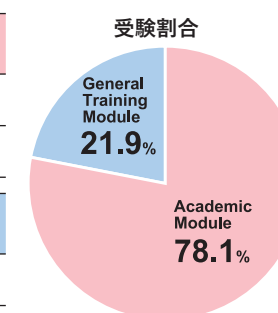
参考： <https://www.ielts.org>

モジュール別スコア

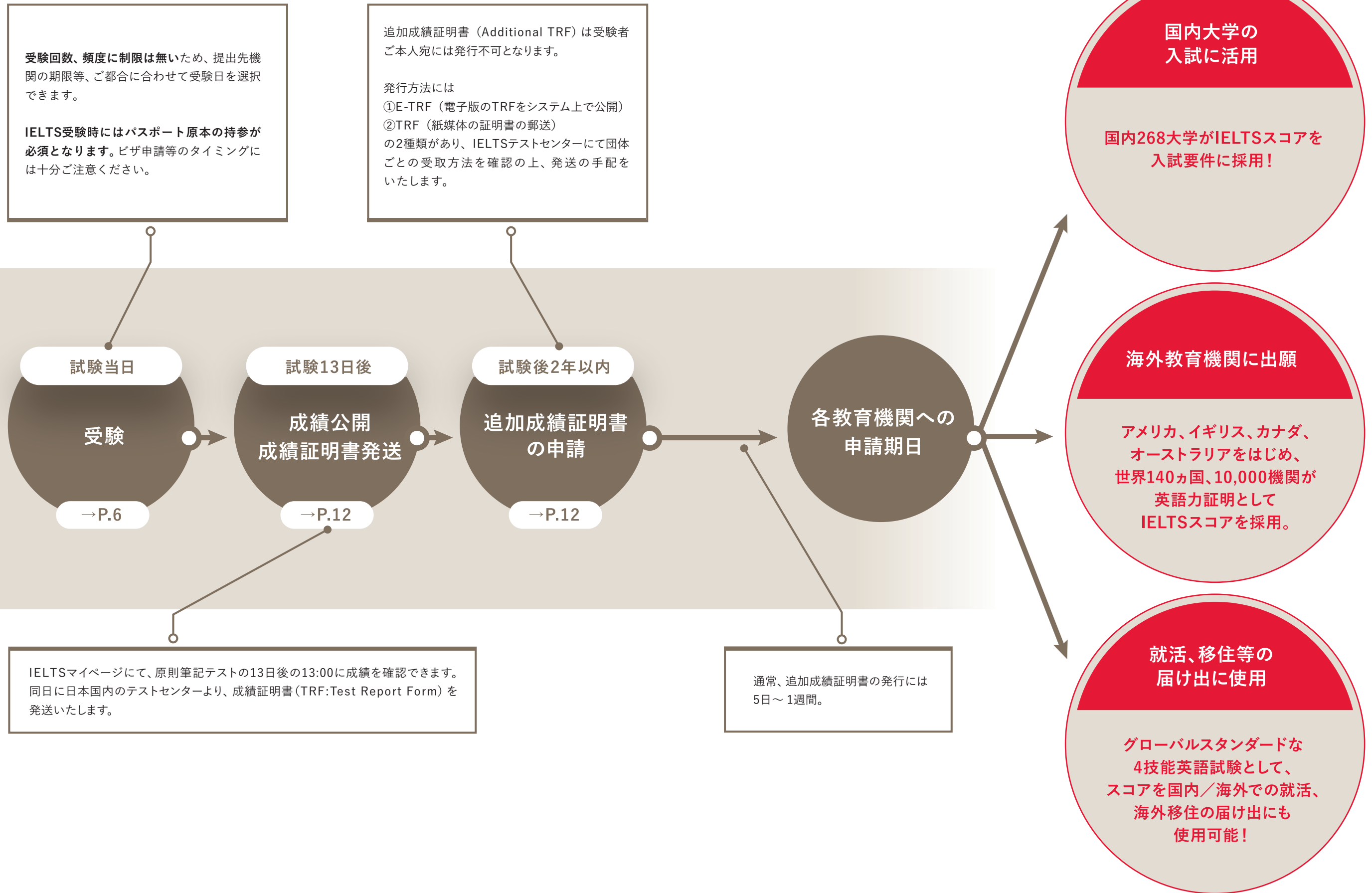
Academic Module	Writing	Reading	Listening	Speaking	Overall
女性	5.7	6.2	6.3	6.0	6.1
男性	5.6	6.0	6.2	5.9	6.0

General Training Module	Writing	Reading	Listening	Speaking	Overall
女性	6.2	6.3	6.7	6.6	6.5
男性	6.1	6.3	6.6	6.6	6.4

参考： <https://www.ielts.org>



IELTSを活かして留学・進学したい！



受験者の方へ

高校の先生方へ

大学の入試担当の方へ

大学の留学担当の方へ

受験するIELTSの選び方

表の内容は、参考情報となります。実際に受験が必要となるテストの判断に際しては、必ず志望校・機関の課す要件を事前にご確認ください。

	イギリス本国へ	その他国・地域へ	日本国内で
学業目的で使う (提出先が教育機関(大学院、大学、カレッジ、高校等)にあたる時)	IELTS for UKVI アカデミック・モジュール	IELTS アカデミック・モジュール	IELTS アカデミック・モジュール ※1
就労、移住目的で使う (移民局に提出する、現地の就労を目的としている時)	IELTS for UKVI ジェネラル・トレーニング・モジュール	IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュール	IELTS または IELTS for UKVI ※2

※1 大学入試英語成績提供システム(2020年度より運用予定)を使用しない入試においては、IELTS for UKVIのスコアも使用可能となります。
※2 機関によってはIELTS か IELTS for UKVIが指定されている場合があります。



英国留学を目指す方へ
IELTS for UKVI

IELTS for UKVI (IELTS for UK Visas and Immigration) は2015年4月に導入された英国留学や移住申請等でビザ申請を行う方を対象とした試験で、英国外で受験できる唯一のSELT (Secure English Language Test) として英国政府の規定のもと厳格に試験が運営されています。
英国の教育機関や移民局からIELTS for UKVIが指定された場合に限り受験が必要です。通常のIELTSで問題ない場合は、IELTS for UKVIを受験する必要はありません。

テスト名	IELTS	IELTS for UKVI (IELTS for UK Visas and Immigration)
対象	教育機関や移民局からUKVIの受験が指定されない場合	教育機関や移民局からUKVIの受験が指定される場合
テスト内容	テスト内容・形式・難易度・採点基準などは同じ	
会場	全国16都市	全国2都市(東京・大阪)
受験料	Academic/General Training: 25,380円(税込) ※ 2019年3月現在	Academic/General Training: 30,600円(税込) Life Skills A1/B1: 23,000円(税込) ※ 2019年3月現在
セキュリティ	パスポートでの本人確認、写真撮影、指紋採取	パスポートでの本人確認、写真撮影、指紋採取、試験会場のビデオ録画
試験実施 (お問い合わせ先)	日本英語検定協会 Email: support-kokusai@eiken.or.jp Tel: 03-3266-8486	ブリティッシュ・カウンシル Email: ielts.ukvi@britishcouncil.or.jp

IELTS for UKVIに関するウェブサイト

URL | <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration>



一般的な区分のイメージ (提出先がIELTS または IELTS for UKVIのどちらを求めているか、ご自身で必ずご確認ください。)



殆どのケースで
通常のIELTSでOK

IELTS for UKVIが必要なケース

英国の教育機関や移民局からIELTS for UKVIが指定された場合に限り受験が必要です。プログラムが学士レベル未満の場合は、IELTS for UKVIを求められることがあります。

- 条件付入学のPre-sessionalコース
- Foundationコース など

あくまでも一般的なケースであり、これに当てはまらないことや同じ大学内でもプログラムごとに要件が異なる場合もあるため、必ずご自身の事前確認をお願いいたします。

英検®から始まる海外留学



英検



英検®2級から目指せるアメリカ留学

全米約380校、ハワイ州では国公立・私立の全14大学が英検を認定。

アメリカ、カナダ、オーストラリアをはじめとする世界約400の大学、コミュニティーカレッジには、IELTSに代わる英語力の証明手段として、英検のスコアを活用することができます。
詳しくはウェブサイト上の情報をご確認ください。

WEB SITE | <https://www.eiken.or.jp/eiken/abroad> 英検留学 検索

お問い合わせ

英検留学情報センター

TEL | 03-3266-6839 (平日9:30 ~ 17:30)

MAIL | international@eiken.or.jp



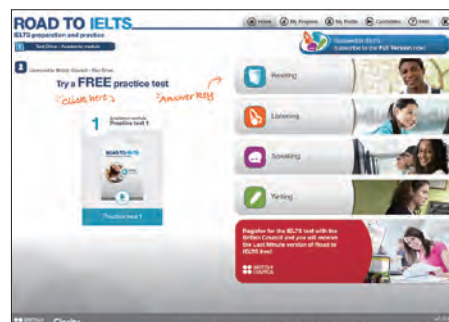
学習支援ツールのご紹介

自主学習用のIELTS専用オンライントレーニングサイト

Road To IELTS

<http://www.roadtoielts.com/>

- ブリティッシュ・カウンシル提供の高品質なコンテンツ
- ご都合にあわせて24時間いつでも利用可能
- 無料お試し10時間、英検IELTS受験申込で30時間利用可能
- Free IELTS Practice Testでレベルを測定
- 4技能それぞれの練習問題、サンプル問題、役立つ IELTS Tipsが満載
- My Profile の Listening and Reading Score Calculatorで正解数からおおよそのスコアバンドを表示(ListeningとReadingのみ)



詳しい説明はこちら → <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/prepare/free-practice>

ブリティッシュ・カウンシル提供のIELTS無料オンライン講座

MOOCs: Understanding IELTS

- 2015年の初回開講以来、世界で人気の講座を定期開講
- 年3回実施予定
- IELTSの4技能全てを2時間×6週間でカバー
 - IELTSの4つのパートの特徴
 - テストのコツ
 - テスト結果の評価方法
 - 世界中の学習者とチャットしながら実力アップ
- CEFR: B1 (高校生/英検®2級程度)のレベル以上の英語力をお持ちの方が対象



詳しい説明はこちら → <https://www.britishcouncil.jp/english/learn-online/moocs#ielts>

スコアアップからテスト準備まで様々な動画ラインナップ

動画教材

ブリティッシュ・カウンシル提供

- IELTS 受験のヒント
 - 各技能のスコアアップにつながるアドバイスやヒントを紹介

■ <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/prepare/test-tips>

- IELTS試験当日の流れ
 - 試験当日の流れを分かりやすくご紹介

■ <https://www.youtube.com/watch?v=nfedEbr3Kqs>

- Youtube : TakeIELTS Official チャンネル
 - IELTS 受験者向け情報が詰まったオフィシャルチャンネル
 - 学習アドバイスや奨学金情報まで幅広い内容

■ https://www.youtube.com/user/BCIELTS/featured?disable_polymer=1

英検協会提供

- IELTSスピーキングテストのサンプル動画
 - スピーキングテストの流れをスコア別にご紹介
 - スピーキングテストの3パート全てを網羅

■ <https://www.eiken.or.jp/speakingtest/>

IELTS 受験のヒント



Youtube : TakeIELTS Official チャンネル



IELTSスピーキングテストのサンプル動画



ブリティッシュ・カウンシル提供のお役立ち無料アプリ

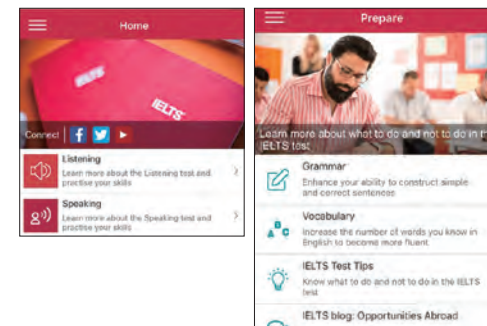
Apps

IELTS Prep Apps

- IELTSのリスニングとスピーキングにフォーカス
- 語彙や文法の強化にも最適

IELTS Word Power

- スピーキングとライティングに役立つ単語を習得
- 初級から上級まで対応



詳しい説明はこちら → <https://www.britishcouncil.jp/english/learn-online/apps>

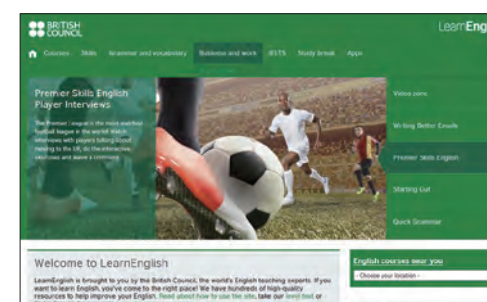
ブリティッシュ・カウンシル提供の無料学習コンテンツサイト

LearnEnglish

<http://learnenglish.britishcouncil.org>

- レベルに応じた様々な英語学習コンテンツの提供
- ご都合にあわせて24時間いつでも利用可能
- IELTS試験対策はもちろん、英語学習全般に対応

ビデオ
Podcast
文法・ボキャブラリーのチュートリアル
ゲームやアプリ
多岐に渡るトピックの英語記事やビデオ
IELTS試験対策、アドバイス
オンラインコミュニティ



詳しい説明はこちら → <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/prepare>

日本英語検定協会提供の有料e-learning講座

留学ライティング

- お勧めします
 - ライティング力を効率的に身につけたい方
 - 表現力を高めたい方
 - IELTSライティングスコアを伸ばしたい方
- 熟練のネイティブによる添削
- 基礎から応用を3ヶ月で順序良く学習
- 全11unit, 1unitにつき1時間目安
- 添削課題はwebで簡単送信
- 受講料 26,000円(税込)



詳しい説明はこちら → https://www.eiken.or.jp/learning/personal/topics/ryugaku_writing/

対策教材本

IELTSのテスト対策用問題集は、日本語、英語の各種対策本が豊富に揃っています。(下記は一例です。)



©Cambridge University Press

INTERVIEW



株式会社
アゴス・ジャパン
代表取締役
横山 匡氏

留学の先の可能性を広げるために まず世界へ飛び立つ滑走路へと導く

世界水準のIELTSで「できること」を知る

私はグローバル人材を「世界のどこでも誰とでも自分らしくふるまえる人材」と定義しています。自分らしくふるまうには、まず自分の持っている能力を知ることです。能力は持っているだけでは価値になりません。アウトプット（成果）を出し、世界に知られて初めて価値が認められるのです。

IELTSはアカデミック・スタンダードとして世界で最も使われているテストです。IELTSを受験するという事は、世界で自分の英語力を示すツールを持つということになります。テストは自分の英語力の現在地を示し、目標に近づいていることを実感してモチベーションを維持するためのツールです。テストのスコアは能力ではありません。テストを通じて「今の自分ができていること」を知ることが重要なのです。日本では「できない」ことに意識を向けがちですが、できなかったことは「まだ今の時点ではできていない」ことであり、将来の目標から「今できていること」を引き算し、どうしたら目標へ近づいていけるのかを知ると、次へのモチベーションにつながるでしょう。

しかし、モチベーションを維持し続けることは簡単なことではありません。それには、単にスコアを上げることを目標とせず、スコアの先の「英語で何をしたいのか」「留学をしたらどうしたいのか」を考えることが大切です。だからこそ指導者には、「学習者が持っているものに気付かせ、自信をつけさせる」ことが求められます。学習者は自信がつけば、夢中になり、自ら学び続けます。夢中になれる目標を小刻みに示していくことが大事なのです。

世界の中の日本を知り、自分を知る

なぜ、英語を学ぶのでしょうか。なぜ、留学をするのでしょうか。それは、「あなた」という人材の価値を世界で知ってもらう可能性が広がるからです。

2050年に日本の人口は9,000万人、世界の人口は90億人になると言われています。つまり、世界の1%です。現在の日本の人口1億2,800万人と比較すれば国力は落ちるかもしれません。しかし、現在のドイツやフランス、イタリア、スペインの人口7,000～8,000万人よりも多い数字です。ただし、ヨーロッパの国々は地続きであり、5億人という経済圏のなかで国が成り立っています。日本の人口減少の課題は何か。それは、世界とつながることができないことにあります。島国である日本では「海外」という言葉を使いますが、世界でそのような

意識を持つ国は数少ないですね。自分の国の外に世界があるのではなく、世界の中に自分の国があるのです。

留学をすることの意味は、「世界の中の日本」を知ることであり、「自分」を知ることにあります。そして、世界とつながることへの不安や抵抗感がなくなり、世界の1%だけの行動範囲で終わらない人生を考えられるようになるのです。また、さまざまな国や人々の「当たり前」に触れて、自分の「当たり前」との違いを知ることができます。「差異」という言葉がありますが、縦並びとなる「差」を重視せずに、横並びである「異」を知り、寛容性を高めるためにも、世界へ出て行くことは大切だと思います。

自分のグローバル化の最たる手段が留学

アゴス・ジャパンは長年にわたり、海外大学院や大学への留学指導、IELTSなどのテスト対策などを通じて、世界のトップスクール合格へと導いてきました。当初は社会人の受講者が多かったのですが、最近では大学生をはじめ、高校生の受講者も増えてきています。人材力を高め彼ら・彼女ら個々のグローバル化をするための最たる手段こそが、留学です。若い世代には知的好奇心を伸ばし、できることを増やし、つながれる人を増やすために、世界へ出て行き選択肢を広げ、自分の価値を知ってもらい、自分で納得して進む道を選んでほしい。そのために私たちは、留学を希望する方々が世界へ飛び立つための滑走路へと連れて行く指導を行っています。

profile

株式会社
アゴス・ジャパン
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町18-4
二宮ビル



「教育と人物交流を通して、世界を舞台に活躍したい人々を応援すること」をビジョンに掲げ、MBA/LLM/大学院/大学留学指導、国内大学推薦・AO入試対策、IELTSやTOEFL、GMAT、GRE、SATなどの対策のエキスパート。トップ校合格のために必要な各種英語テストの攻略法および出願コンサルティング指導により、ハーバード大やスタンフォード大、ケンブリッジ大などの海外トップスクールへ1万件以上の合格実績を誇る。国内70社以上の企業派遣生への特別対策講座や留学指導、大学でのテスト対策講座等も実施している。

INTERVIEW



高校の先生方へ
沖縄尚学高等学校
国際文化科学コース主任 国際バカロレアIBDPコーディネータ
ブースクリ 悟子 先生

強くて優しいグローバル教養人を育成し IBカリキュラムで国内・海外大学進学を目指す

Dual IBDPで学ぶ国際文化科学コースで 2017年度よりIELTSを団体受験

沖縄尚学高等学校では、学力はもとより沖縄空手や英検®の資格取得にも力を入れ、ボランティア活動や異文化交流も重視し、教養・倫理観・文化力・コミュニケーション力などの素養を持った「強くて優しい文武両道のグローバル教養人」の育成を目指しています。本校は、2015年度に国際バカロレア認定校となり、国際文化科学コースでDual IBDPに加え、日本の高校卒業資格に必須の体育や家庭科、情報などの授業と、空手の授業を組み込んだ、英語と日本語によるカリキュラムを編成しました。卒業時にはIB Diplomaと日本の高校卒業証書が授与されます。本コースでは卒業後に海外大学進学を希望する生徒が3分の1程度を占め、本校が全校を挙げて取り組んでいる英検®に加え、高校2年生でIELTSを団体受験しています。また、英語外部検定試験を入試で活用している国内難関大学進学を見据えて、3年次には本コースだけでなく、他コースからも希望者を募り、IELTS受験に取り組んでいます。

日々の学びで身につけた英語力を測り 目標より上を目指してさらに努力する

本コースの生徒たちは日頃からIBによるカリキュラムで学ぶなかで、英語で思考し、英語で文章を書いたり、話したりといった表現することに慣れていきます。IELTSは2017年度より導入しましたが、そうした日頃の学びで身についた実践的な英語力を発揮しやすいようで、本校の生徒に向いている試験だと感じています。試験内容も興味深く、パターン化された試験問題ではなく、ライティングでは論理的思考力が測られ、スピーキングでは個々の受験者の応答に合わせた面接官とのコミュニケーションができるなど、生徒が持っている英語運用能力を測定できていると思います。また、沖縄という土地柄、生徒が日常的に見聞きするのは「米語」が多いのですが、IELTSを通して、イギリスの「英語」に触れ、世界で話される国際語としての英語を知ることができるのも、IELTSの良さだと言えるでしょう。

生徒たちにはIELTSスコア5.5～6.5を目標として設定しています。多くの生徒が6.0をクリアし、今年度は8.0を取得した

生徒もいます。生徒の英語力を高めていくためには、容易に超えられる壁ではなく、少し高い目標設定をすることで努力をするようになり、結果として目標を達成していきようになるものです。8.0を取得した生徒が現れたことで、英語にある程度自信を持っている他の生徒にとっても大いに刺激となりました。現状に満足せずに、さらに上を目指したいと努力する生徒が増え、全体的な底上げにつながっていくことに期待しています。

IELTSとIB、SATは有機的につながる IB認定校にはふさわしい試験

IELTSの評価基準はIBのカリキュラムの評価基準とも合致しますし、海外進学を目指す生徒にとってはSATにも役立ち、これらは有機的なつながりをもたらしています。国内にあるほかのIB認定校にも、ぜひIELTSの良さをお伝えし、受験をお勧めしたいものです。

沖縄県ではこれまで県内でIELTSの公開会場がなく、県外の会場で受験しなければならませんでした。2017年度より本校では校内で受験ができるようになり、生徒にも保護者にも喜んでいただけており、受験料を円建てで支払うことができることも、実施側としてはメリットに感じています。今後は本校だけでなく、県内でも留学や海外進学を希望する多くの生徒・学生のために、沖縄県でも公開会場が設置され、IELTSを受験できる環境が整うことを願っています。

profile

**沖縄尚学
高等学校・中学校**
〒902-0075
沖縄県那覇市国場747



「たくましいグローバル教養人」を育成するため、習得目標型授業・沖縄伝統空手・英検・ボランティア・異文化交流に取り組む。世界各国に41（海外32）の教育協定校を持ち、短期・長期の留学に多くの生徒が参加している。2015年度より国際バカロレア認定校として、国際文化科学コースでは英語と日本語のディプロマ取得が可能となり、海外大学と日本の大学のダブル合格を目指す。2017年度より同コースにてIELTSを団体受験。

INTERVIEW

大学の入試担当の方へ

武蔵大学

PDP教育センター長
東郷 賢 教授

大学での本質的な学びを深め IELTSで世界に通用する力を養う

「全学部統一グローバル型」の一般入試で IELTSを導入

武蔵大学では高度な語学力と、世界を見渡せる視野を兼ね備えた「グローバル市民」の育成を目指し、グローバル教育を進めています。そのため、入試の段階から英語力を重視し、一般入試の「全学部統一グローバル型」で英語外部検定試験を利用しています。これは、各学部学科が指定する英語資格・検定試験(4技能)の基準を満たしたうえで、英語以外の1科目(2科目受験した場合は高得点の1科目)の得点を合否判定に使用する方式です。全学部でIELTSを導入し、経済学部で5.0以上、人文学部と社会学部で4.5以上を出願資格としています。

IELTSは、コンピュータベースの試験と違い、受験者自身が持つ本来の英語力を発揮しやすく、コミュニケーションツールとしての英語能力を測ることができる利点があります。また、世界に通用する試験であり、作問における信頼性が高い試験であることも、導入の決め手となりました。さらに、海外の大学で学ぶうえで必要な論理的思考力やエッセイライティングの力も測ることができ、入学時点で最低限持っておくべき力を判断し、入学後の伸びしろまで考え合わせることができる試験だと思っています。

経済学部のPDPではIELTSが履修の基準

経済学部では2015年度に、武蔵大学とロンドン大学のカリキュラムに基づいた教育を4年と1ヶ月受け、国内にいながらにして両大学の学位を取得できる日本初の「パラレル・ディグリー・プログラム(PDP)」を開設しました。授業内容はロンドン大学とLSE(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス)が管理し、本学でPDPを担当する教員は、ロンドン大学の教員から研修や模擬授業などを通じて指導を受けています。学位や成績はロンドン大学が世界中の学生を同一基準で評価するため、世界で通用するものとなります。

ロンドン大学の登録にはIELTS over all 5.5(各項目5.0)以上のスコアが求められ、PDPの選考を通った学生は、1年次の4～5月の英語力を強化する授業と、6～7月のセブ島でのマンツーマンを中心とした語学研修を受けて、5.5以上のスコアを目指します。5.5に到達した学生は、9月から英語で授業が行われるロンドン大学のIFP(基礎教育プログラム)を履修します。入学から半年間で5.5に到達するためにも、「全学部統一グローバル型」の

入試では、IELTS5.0を出願資格に定めているのです。

2年次以降はBSc(専門教育プログラム)を3年間で12単位履修します。優秀な成績を収めた学生には、3年次に同じプログラムを実施しているSIM(シンガポール・インスティテュート・オブ・マネージメント)への留学や、IELTS over all 7.0に達していれば、ロンドンのLSEで学ぶ制度も用意しています。このように、PDPでは英語で世界水準の専門科目を学び、IELTSを継続的に受験していきます。3年次修了時点で7.0を取得できていれば、海外大学院への進学という道も開けます。PDPで学ぶことによって、学生には受験勉強とは異なる、本質的な学びに向かう力を身につけてほしいと願っています。

GSC、GDSでも入学後にIELTSを受験

2017年度からは、人文学部において「グローバル・スタディーズコース(GSC)」を、社会学部においては「グローバル・データサイエンスコース(GDS)」を開設しました。GSCでは多くの授業が英語で行われ、GDSも英語能力の向上を目指した授業が行われるなど、ハイレベルな授業が展開されるなかで、学生たちは学問の本質に触れ、学習意欲を高めています。また、在学中には海外留学や国際ボランティアを推奨しており、留学等の条件の1つとしてIELTSのスコアを利用することもできます。このように本学では、グローバル教育と伝統であるゼミ教育とを融合し、国内外を問わず広く社会で活躍できる人材の育成に努めています。

profile

武蔵大学

〒176-8534
東京都練馬区豊玉上1-26-1



1922年に創立された、わが国初の七年制高等学校となる旧制武蔵高等学校をルーツとする。「人間形成を根幹に、明日の新しい日本を担う、優れた人材を育てる」を理想とし、1949年に武蔵大学を開設。経済学部・人文学部・社会学部の3学部からなる。少人数制のゼミでの学びを伝統とし、「自ら調べ自ら考える」力を持ち、「心を開いて対話し」、「世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践」できるグローバル市民の育成を目標とする。

INTERVIEW

大学の留学担当の方へ

中央大学

国際センター所長
白井 宏 教授

IELTSの学内実施や対策講座で 学生の留学への機運を高める

留学希望者増加に伴い、IELTS受験者も増加

グローバル化が進む社会において国際競争力が問われるなか、中央大学は研究・教育・就業力育成といった側面から、国際的な視野に基づいたさまざまな取り組みを進めています。世界各国の協定大学への交換留学等を通じて多くの学生が行き来をし、2019年度には国際経営学部と国際情報学部を新設、さらに、多摩キャンパス内には国際教育寮が新たに設置されます。キャンパスの国際化が今後ますます進んでいくと期待しています。

近年では、北米やヨーロッパをはじめ、留学を希望する学生が増加しており、それに伴いIELTS受験者数も伸びてきました。学内で実施している「留学対策英語講座」のIELTS攻略クラスの受講者も多く、それに伴い、IELTSのスコアによって交換留学の要件を満たす学生の比率が高くなってきたようです。本学では、IELTSを学内実施しており、国際センターからIELTSや留学に関する情報提供をしていることもあり、学生たちは個人で受験するよりも情報を入手しやすく、試験へのハードルが低くなっているようです。学生の留学への機運を高め、対策講座や受験申し込みへの意欲を促すには、大学として環境を整えることが重要であると考えます。

国際化を推進する2つの新学部

2019年4月には、多摩キャンパスに国際経営学部、市ヶ谷田町キャンパスに国際情報学部という、「国際」を冠した2つの学部が新設されます。

国際経営学部では新入生300人のうち50人、海外から留学生を受け入れることを想定しており、9月入学の機会を設け、英語で専門科目を学び、7割以上の授業が英語や中国語などによって開講されます。そのためこの学部には、国際的な志向の強い学生が集まるようになるでしょう。1年次には海外短期留学が必須であり、2年次以降には海外インターンシップやフィールド・スタディなどの場も提供します。学生たちは海外に早い段階から出ること、世界の共通語としての英語の重要性を実感し、4年間を通じて国際的な視点に立った、より専門性の高い知識を身につけていきます。こうした学びの経過のなかで、IELTSを受験する機会が増え、次のステップへと生かされていくものと思われま。

一方、国際情報学部(iTL=Information Technology & Law)は、工学系に本学の強みである法学系の学びを融合する新たな

学問領域を専門とします。国際社会で通用する情報の仕組みと情報の法学を学び、グローバルに活躍するための英語力や教養も身につけることを目指す学部です。複雑かつ国際的に広がる情報社会の未来と課題解決のために、理系的な思考と文系的な思考の枠を超えた視点を持った人材を育てることを目指します。

英検®、TEAP、IELTSへとつなぐ環境づくり

本学では英語外部検定利用入試も積極的に取り入れていいます。高校段階までに意欲的に英語学習に取り組んできた受験生の姿勢を評価し、英検®やTEAP、IELTSなどを「英語外部検定試験利用入試」で採用しています。そして、このような検定試験に取り組んできた学生が、入学後は留学を目指してIELTSへ挑戦するというステップを踏めるようにするための環境整備に努めています。IELTSの学内実施はもちろんですが、英検®やTEAPも公開会場として本学キャンパスを使用しており、近隣の小・中・高校生が検定試験の受験で本学キャンパスを訪れ、中央大学の空気を感じ、進路として中央大学を志望していただけたらと思います。

現在は、IELTSの学内実施は多摩キャンパスのみですが、将来的には後楽園キャンパスなどでも実施できる環境を整えていきたいと考えています。今後も日本英語検定協会との協力体制のもとで、英検®からTEAP、IELTSへとつなぐ道筋をつくり、学生の学びをバックアップしてまいります。

profile

中央大学

多摩キャンパス
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1
後楽園キャンパス
〒112-8551
東京都文京区春日1-13-27
市ヶ谷田町キャンパス
〒162-8478
東京都新宿区市谷田町1-18



写真は多摩キャンパスに建造中の国際教育寮(イメージ)。

1885年に18人の法律家たちによって「英吉利法律学校」として創設され、現在は8学部・大学院7研究科・専門職大学院2研究科を擁する総合大学。2015年に策定された「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」に基づき、世界に存在感のあるChuo Universityとなるべく、「グローバル・プロフェッショナル」の育成をはじめとするグローバル戦略を展開。年間2,200名の海外派遣、同1,000名の外国人留学生受け入れ、外国人教員比率の10%への引き上げなどを進めている。

受験者の方へ

高校の先生方へ

大学の入試担当の方へ

大学の留学担当の方へ



公益財団法人

日本英語検定協会

お問い合わせ先

公益財団法人 日本英語検定協会
IELTS マーケティング担当

E-mail : support-kokusai@eiken.or.jp

Tel : 東京 03-3266-8486

大阪 06-7670-8085

<https://www.eiken.or.jp/ielts>

©2019 Eiken Foundation of Japan

2019年 3月発行